



2025年度 奨学金募集要項

(直接応募)

公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団
OTSUKA TOSHIMI SCHOLARSHIP FOUNDATION

2025年度募集要項(直接応募)

奨学金制度の概要

1) 奨学金給付額

年額200万円、150万円または100万円

ただし、他奨学金と併給の場合は年額50万円(奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円以上になる場合は併給不可)

※当財団選考委員会による評価に応じて決定。

※特に研究成果及び品行の優れた継続申請者(若干名)に年額250万円の給付を行うことがあります。

※学業が不良のとき、また法律を犯す行為だけでなく、倫理・道徳観念上、学生として不適切な行為があった場合は、給付額減額または給付停止となることがあります。

2) 奨学期間

1年間(2025年4月～2026年3月)

※奨学期間中、所属大学に在学していることが条件です。なお、奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます(奨学期間は最長、最終目標とする学位取得までの最短修業年限まで)。

※秋入学の2024年度奨学生で、2025年秋に修了予定(標準修業年限内の修了)の人に限り、半年間の継続申請を認めます(他奨学金との併給は不可。採用された場合は2025年秋に学位取得証明書など修了を証明する書類の提出が必要です)。

3) 申請者の区分

1. 新規申請者: 当財団から奨学金の給付を受けたことのない者

2. 継続申請者: 当財団から過去に奨学金を給付された者

※継続申請は2024年度に成果・進展のあった者に限り認めます。

※過去に応募した際の願書を書き写した者は不採用とします。

4) 給付停止の要件

1. 退学したとき

2. 奨学生が休学、又は長期にわたって欠席したとき

3. 奨学生が原級にとどまったとき、又は修了延期の恐れが生じたとき

4. けが、病気などのため成業の見込みがなくなったとき

5. 学業成績又は品行が不良となったとき

6. 奨学金を必要としない理由が生じたとき

7. 上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

8. 在学校で処分を受け、学籍を失ったとき

9. その他奨学生としての資格を失ったとき

願書等に「外国人留学生担当部署及び担当者名」を入力する欄が出てきましたら、

下記のとおり記入してください。

大学(院)内の外国人留学生担当部署:

教育・学生支援部 留学生課

担当者名: 西村 純子

担当部署(担当者)の連絡先電話番号: 022-795-7817

担当部署(担当者)メールアドレス: sed2@grp.tohoku.ac.jp

応募資格

※応募、書類選考、面接、内定、認定式の時点で日本国外にいる人は選考対象外です。

(1) 2025年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生(在留資格が「留学」の者に限る)

(2) 日本国内の大学又は大学院の正規課程に在学し、人の健康に深く関連する分野(医学、歯学、薬学、生物学、栄養学、体育学、工学等。ただし工学は医学・薬学に関連の深い分野の研究をしている者に限る。)及び経営学(経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含む)の研究をしている者

※工学で医学・薬学との関連(学会発表、論文などの実績を含む)が願書に明記されていない場合は選考対象外

※学部1、2年生は応募不可。3年生以上の学部生についても、成績が極めて優秀な場合(すべて優/Aなど)を除き、応募不可

(3) 向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者

(4) 独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者

(5) 財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者

(6) 奨学期間中に合計40日以上(出発日を含む)日本を離れない者

(7) 国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者

(8) 学資の支弁が困難と認められる者

(9) 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる者

(10) 日本語を学ぶ意欲のある者

※英語で書かれた願書も受け付けますが、願書及び面接において日本語への意欲が見られない場合は減点します。

(11) 研究成果をもって社会貢献を期する者

(12) 上記(1)～(11)の資格及びその他当財団の定める条件を満たす者

※標準修業年限内での修了が見込めない者は応募不可

※夜間・週末の授業のみ、通信制の留学生は応募不可

直接応募となりますが、採用となった場合は財団より留学生課に併給の確認が入りますので、応募・採用状況について農学部・農学研究科教務室に必ずお知らせ願います。

【財団HP】<http://www.otsukafoundation.org/>

応募方法

申請サポートシステムを導入しています。願書他の「Web提出」と「郵送」の両方の手続きが必須です。

1) 応募方法 ※詳細は4ページの「申請の流れ」をご覧ください。

1. 当財団ホームページの「奨学金に応募する」より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、PDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください。指定されていない書類(論文など)はアップロードしないこと。

※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。

※Web提出する願書にも必ず写真を貼付すること。

※願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)。

※入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。

Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。

2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5ヵ所(「申請の流れ STEP04」参照)に記入の上、応募書類をまとめて事務局宛に郵送してください。また、5ヵ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

【送付先】〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-27 大塚グループ大阪本社ビル
公益財団法人大塚敏美育英奨学財団 事務局

※Web提出した願書・成績証明書と郵送した願書・成績証明書に差異がある場合は選考対象外となります。

※提出された書類は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。

※応募書類は返却しません。

2) 応募書類

1. 該当の奨学生願書(A4サイズで片面印刷した当財団指定用紙を使用し、ホチキス留めをしないこと。ページが欠けているものは選考対象外)

※推薦状以外の書類はすべて応募者本人が日本語または英語で手書きすること(黒インクのペンを使うこと。消せるペン・青インクのペンは使用不可。コピーした願書、タブレット端末等で記入し印刷した願書は不可)。

なお、英語で書かれた願書も受け付けますが、日本語訳の添付が必須です(日本語訳の不備、字数制限のある項目に対して日本語訳に字数が明記されていないものは選考対象外)。英語で願書を提出する場合は日本語訳についてのQ&Aを必ず参照してください。

※新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。

※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。抱負や研究内容に変更がなかったとしても、必ず新たな表現で書き起こすこと。

※指導教員の適切なチェックを経ていないと思われる応募書類(願書の内容及び日本語訳を含む)を提出した者は選考対象外とします。

2. 推薦状(推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。推薦状が英語の場合、日本語訳の添付が必須です)

※新規申請、継続申請にかかわらず、同じ指導教員から2人以上推薦される場合は、推薦状に「推薦順位とその理由書」を添付して密封してください(1人のみ推薦される場合は不要)。工学分野は工学系の推薦状を使用してください。

3. 写真1枚(4.5×3.5cm、カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと)

4. 成績証明書(履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近1年分の成績証明書を送付のこと。成績通知書は不可。成績が出ない旨の証明書は不可。日本語学校や専門学校のもの不可)

※成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること。

5. 在学証明書(日本語で書かれた2025年4月1日以降のもの。コピー不可)

6. 住民票の写し(募集開始日以降のもの。コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可)

7. 【該当者のみ】2025年4月～2026年3月にかかる期間で他の奨学金、研究助成金を受給する場合、その内容を証する書類(支給団体名、期間、金額等を証する写し)

3) 応募期間

※新規申請者と継続申請者で応募締切日が異なりますので、注意してください。

1. 新規申請者(当財団から奨学金の給付を受けたことのない者)

Web提出: 2025年3月6日(木)9時～4月21日(月)17時

郵送: 2025年4月1日(火)～4月24日(木)15時(事務局必着)

2. 継続申請者(当財団から過去に奨学金を給付された者)

Web提出: 2025年3月6日(木)9時～4月14日(月)17時

郵送: 2025年4月1日(火)～4月17日(木)15時(事務局必着)

選考、採用及び奨学金の給付について

1) 選考

選考は書類選考と面接試験(書類選考合格者のみ)によって行い、採用は選考委員会を経て理事会で決定します。
書類選考不合格者への通知はしません。なお、面接試験は大阪または東京で6月下旬～7月初旬に行います(予定)。

2) 採用

7月中旬までに採否を決定し、本人に通知します。その通知をもって内定とし、7月25日(金)、26日(土)に開催する当財団認定式への出席及び当財団指定の「確認書」の提出をもって正式採用とします(半年間の継続申請採用者も同様です)。確認書提出後の辞退、併給への変更はできません(他の奨学金・研究助成金等を申請する場合は、必ず申請前に事務局に連絡すること)。

3) 奨学金の給付

原則として年間給付額を2回に分けて、8月と12月の一定日に本人名義の口座に直接振り込みます。
また、研究や日本語学習、国際理解に役立つ本を買う費用として図書費を給付します(金額は1万円程度を予定しています)。図書費で購入した本の読書レポートを提出していただきますので、予めご了承ください(11月頃予定)。
※半年間の継続申請採用者の奨学金の給付時期については別途定めて該当者に連絡します。図書費の給付は行わない予定です。

4) 採用予定人数

2025年度：約90人(2024年度の実績75人、2023年度の実績86人)

奨学金の特徴

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。ただし、虚偽の申告をした場合、奨学生の義務を果たさなかった場合はこの限りではありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

奨学生の義務

奨学生は以下に定める義務を履行する必要があります。

- (1) 奨学生は、募集要項に規定された内容を遵守し、資格条件に抵触することがあれば速やかに届け出ること
- (2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を代表理事に届け出ること
 1. 休学、復学、転学又は退学したとき
 2. 停学その他の処分を受けたとき
 3. 氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき
 4. 留年又は修了延期の恐れが生じたとき
- (3) 以下の書類を代表理事に提出すること
 1. 在学証明書及び生活状況報告書
 2. 成績証明書
- (4) 当財団主催の行事に参加すること
- (5) 奨学期間終了後も定期的に当財団に近況を報告し、卒業生のネットワークに参加すること

申請の流れ

STEP
01



マイページ
取得

- ① 当財団ホームページの「奨学金に応募する」より申請サポートシステムへ入り、「マイページを取得する」ボタンをクリックします。
- ② メールアドレスを登録します(yahooのメールアドレスは使えません)。
- ③ 登録したメールアドレスに、マイページ登録用のURLが届きます。そのURLにアクセスし、パスワード等を登録します。
- ④ ログインIDが自動発行されます。

マイページの取得完了

STEP
02



申請書類の
準備

- ① 「マイページ」にログインします。
- ② 「申請者基本情報」を入力します。
※ 願書に書いたことと同じことを入力すること。入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります。
- ③ 「奨学生願書(手書きしたもの)」と「成績証明書」をアップロードします。
(願書が英語の場合は、日本語訳もアップロードします。願書と日本語訳は別々のPDFファイルにし、それぞれ「奨学生願書」「日本語訳」欄にアップロードしてください。)

※ 願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで撮影してPDF化したものは不可。横向き不可)

※ 「願書」欄には、論文など願書以外のものをアップロードしないこと

※ 「成績証明書」欄には、成績証明書以外のものをアップロードしないこと

※ 英語で願書を書いた場合のみ日本語訳をアップロードすること(1～3ページについても英語で記入した部分は日本語訳が必須です)。「日本語訳」欄に日本語訳以外のものをアップロードしないこと

※ 保存、アップロードした各書類は「PDF表示」ボタンから確認できます(「提出」ボタンを押すまでは、申請受付期間であれば何度でも編集、アップロードが可能です)。

※ 写真を貼付していない願書は選考対象外です。

STEP
03



Web提出

申請者基本情報の内容が確定し、申請書類がすべて揃ったら、以下の注意点をもう一度よく確認してからマイページの「提出」ボタンをクリックします。

※ 4ページの推薦状を除く願書の全ページ(医薬系は1～11ページ、経営系は1～10ページ、写真のあるページはカラー)と必要書類がすべてアップロードされていることを確認してください。

※ 推薦状、住民票、在学証明書はWeb提出しないでください(開封された推薦状は無効です)。

※ ページ順に並んでいない願書、ページの向きが正しく揃っていない願書は選考対象外です。

※ Web提出のやり直しはできません。「PDF表示」でアップロードしたPDFファイルを確認してから、提出ボタンを押してください。

Web提出完了・受付番号発行

Web提出後に通知される受付番号を以下の5カ所に記入してください。 例) 25-1

1. チェックリストの右上の受付番号記入欄
2. 奨学生願書1ページの左上の受付番号記入欄
3. 成績証明書の右上(成績証明書には受付番号に続けてカタカナで名前も記入すること)
4. 在学証明書の右上
5. 住民票の右上

※ 受付番号を記入していない願書は選考対象外です。

STEP
04



郵送準備

STEP
05



郵送

チェックリストに従いすべての申請書類が揃っていることを確認の上、応募期間内に財団宛に郵送してください。

※ Web提出した願書・成績証明書と郵送した願書・成績証明書に差異がある場合は選考対象外となります。

※ 推薦状は密封のまま郵送してください。開封された推薦状は無効です。

※ 推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

Q & A

応募資格に関するQ & A

Q. 国籍の制限はありますか？

A. 国籍の制限はありません(ただし、日本国籍を有する者を除く)。

Q. 在留資格が「留学」以外でも応募できますか？

A. 在留資格が「留学」の人のみ応募できます。

Q. 在籍する学部・学科、研究内容等が応募対象になるかわからないのですが？

A. 在籍する学部・学科にかかわらず、研究内容が人の健康に深く関連する分野(医学、歯学、薬学、生物学、栄養学、体育学、工学等)及び経営学であれば応募できます。
まず指導教員の先生と相談してください。それでも判断できない場合のみ、当財団ホームページのお問い合わせフォームより、具体的な研究内容を記入して事務局にお問い合わせください。

Q. 経営学専攻でなければ応募できませんか？

A. 研究科にかかわらず、経営学に関連していれば経済学など幅広い分野が対象となります。また、経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「国際関係学分野」も対象に含まれます。

Q. 生物学専攻で、植物や動物に関する研究をしているのですが、応募できますか？

A. 人の健康に応用できる研究であれば応募できます。ただし、必ず願書に「どのように応用可能か」を記入してください。

Q. 工学系の専攻なのですが、応募できますか？

A. 応募できますが、「医学・薬学に関連の深い工学分野」を研究している人に限ります。例えば、検査・分析機器の開発、生体材料工学、光学機器開発、放射線(治療・診断)、ロボット工学などの人間医工学及び医薬生物・ゲノム統計解析などの生命情報学、計算科学、創薬に関わる研究などが対象です。願書に「医学・薬学にどう関連するか、どう応用できるか」を必ず明記してください。関連が不明確な場合は選考対象外となります。工学用の推薦状を使っていない場合も選考対象外となりますので注意してください。

Q. 研究生も応募できますか？

A. 研究生は応募できません。非正規留学生は対象外です。

Q. 入学前に応募できますか？

A. 応募できません。願書とともに在学証明書の提出が必須のため、4月時点で正規課程に在学中の人が対象です。

Q. 学部生は応募できますか？

A. 学部1、2年生は応募できません。3年生以上の学部生についても、成績が極めて優秀な場合(すべて優/Aなど)を除き、応募不可です。

Q. 新規申請者です。2025年秋に卒業するのですが、半年分の奨学金に応募できますか？

A. 応募できません。新規の申請者に対して半年分の奨学金給付は行いません。奨学期間(2025年4月から2026年3月まで)を通して在学している人のみが対象です。ただし、卒業後進学予定で、合格証明書又は入学を証明する書類を応募書類と共に提出できる場合は応募できます。進学後の指導教員が応募者と面談を重ねているなど、十分な認識をもって推薦状を書ける場合のみ対象となります。

Q. 2024年度の奨学生です。2025年秋に修了するのですが、半年分の奨学金に応募できますか？

A. 秋入学の2024年度奨学生で、2025年秋に修了予定(標準修業年限内の修了に限る)の人は、修了までの半年間の継続申請をすることができます。必ず願書1ページの「半年間の継続希望」に○をつけてください。他の奨学金と併給はできません。

Q. 標準修業年限内に修了できないかもしれないのですが、応募できますか？

A. 長期履修生や標準修業年限を超えている人(オーバードクターを含む)、標準修業年限内の修了が見込めない人は応募できません。採用されてから修了延期となった場合は採用が取り消されます。

Q. 年齢制限はありますか？

A. 2025年4月1日時点で満38歳以下の人が対象です。

Q. 他の奨学金を受給している場合でも応募できますか？

A. 受給している他の奨学金が併給可能で、かつ奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円未満の場合は、応募できます。支給団体名、期間、金額等を証するコピーを提出してください。ただし、給与として受給しているものがある場合は応募できません。

Q. 交換留学をする予定ですが、応募できますか？

A. 交換留学、現地調査、旅行、日本国外からオンライン授業を受ける等で奨学期間中に出発日を含め合計40日以上日本を離れる(生活のベースが日本にない状態)予定がある人は応募できません。

提出書類に関するQ & A

Q. 募集要項等の書類はどこで入手できますか？

A. 募集要項等は、ホームページで見ることができます。また、願書(当財団指定用紙)はホームページからダウンロードして使用してください。新規申請と継続申請、医薬系と経営系で願書が異なりますので注意してください。誤った願書で応募した場合は選考対象外となります。

Q. 願書③「所属機関」は、いつ時点の情報を記入すればいいですか？

A. 所属機関・学年他、学業・生活面の各項目については、2025年4月時点の状況を正確に記入してください。

Q. 願書④「学歴・職歴」はどのように記入すればいいですか？

A. 母国の最終学歴から現在までの経歴(日本語学校や研究生等含む)を上から順に時系列で空白期間がないように記入してください。職歴がある場合は具体的に記入してください。

記入例)

2014	9	～	2018	7	〇〇大学 △△学部 ××学科 (中国〇〇省△△市)
2018	9	～	2021	8	株式会社〇〇〇 研究開発職 (中国〇〇省△△市)
2021	9	～	2022	8	☆☆☆日本語学校(大阪)
2022	10	～	2023	3	〇〇大学大学院 △△研究科 研究生
2023	4	～	2025	3	〇〇大学大学院 △△研究科 博士前期課程
2025	4	～			〇〇大学大学院 △△研究科 博士後期課程

Q. 入学したばかりで、在籍する大学院の成績証明書がありません。その場合、大学の時の成績証明書で応募できますか？

A. 卒業した大学の成績証明書で応募できます。

Q. 成績証明書は原本でなく、コピーでもいいですか？

A. コピーで応募できます。

Q. 母国語で書かれた成績証明書で応募できますか？

A. 日本語または英語表記の成績証明書の取得が困難な場合は、母国語で書かれた成績証明書で応募できます。なお、募集要項に記載の通り、履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のある直近の年のものを提出してください(合格、不合格の評価のみのものは不可)。成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも必ず添付してください。

Q & A

Q. 郵送の締切は消印日ですか？ 到着日ですか？

- A. 新規・継続共に郵送締切日の15時事務局必着です。郵送以外は受け付けません。
なお、当財団ホームページの申請サポートシステムからのWeb提出は、Web提出締切日の17時までですので、注意してください。必ずWeb提出後に応募書類を郵送してください。

Q. 願書は手書きでなくても応募できますか？

- A. 応募者本人が手書きで記入してください。タイプした願書や代筆が含まれたもの、消せるペンで記入したもの、タブレット端末等で記入し印刷したものは選考対象外です。

Q. 推薦状も手書きでないとイケませんか？

- A. タイプしたものでも可能です。当財団ホームページからエクセル版をダウンロードできますので、そちらを使用してください。ただし、氏名欄(ご署名)は推薦者が必ず自筆で記入してください。代筆や記名の場合は選考対象外となります。
工学系のみ推薦状が違います。工学分野で応募される際は必ず工学用の推薦状を使い、「医学または薬学に関連している」項目を確認の上、推薦者がチェックを入れてください。

Q. 英語で書いた願書は受け付けていますか？

- A. 受け付けますが、英語で記入した部分は固有名称も含めすべて日本語訳の添付が必須です。その場合も、願書への英語での記入は必ず応募者本人が手書きで行ってください。なお、日本語で記入できる部分は日本語で記入してください。
日本語訳は手書きである必要はなく、様式は問いませんが、願書のページごとにページを分けて書いてください。研究内容(願書の7ページと8ページ)のみ、ページを分けずに続けて記載してもかまいません。両面は不可です。不自然で意味の通らない訳、誤訳、大幅な訳漏れ、原文にない内容が訳に入っている等の日本語訳の不備は選考対象外となりますので、注意してください。
「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と今年度の計画)」「過去1年の成果及び活動」については必ず字数制限を守り、日本語訳の字数を明記してください。

Q. 英語で記入する際、願書のマス目がある「将来の抱負(将来の抱負とこの1年の進捗)」「研究内容(研究について、この1年の進捗と今年度の計画)」「過去1年の成果及び活動」はどのように記入したらいいですか？

- A. マス目を無視して記入してください。英語の字数については問いませんが、日本語訳については必ず字数制限を守り、字数を明記してください。

Q. 研究内容が特にならない場合は、研究内容には何を書いたらいいですか？

- A. 「今後研究したいテーマ」とその手法を具体的に800字以内で記入してください。

Q. 現在、病院実習中で研究していない場合、研究内容には何を書いたらいいですか？

- A. 「実習で何を学んでいるか、今後医学的に何を成し遂げたいか」を800字以内で記入してください。

Q. 「過去1年の成果及び活動」が特にならない場合はどうしたらいいですか？

- A. 学会発表・論文投稿だけでなく、学業面の成果や社会貢献活動等を含めて、1年間の成果及び進展について記入してください。昨年度の成果及び進展が乏しい場合は応募できません。

Q. 医薬系の願書10ページ目「学会発表、論文掲載の研究実績」の論文の実績はどのように書けばいいですか？

- A. 「著者名」「論文標題」「雑誌名」「巻」「最初と最後の頁」「発行年(西暦)」「査読の有無」「IF」「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)」を記入してください。著者名が多数の場合、上位3名のみ記入しその他の著者を省略することは問題ありません。なお、省略する場合は、著者の総数と申請者の順番を○番目と記入してください。

Q. 「他奨学金・研究助成金の併願状況」の受給状況について、1回のみ支給される場合などはどのように記入すればいいですか？

- A. Web入力時は「年額」を選択して給付の総額を入力してください。願書には、空いているスペースに「1回のみ」など、内容がわかるように記入してください。その他の項目についても説明が必要な場合は、願書の空いているスペースに内容を記入し、目印として付せんをつけてください。

Q. 願書⑤「外国人留学生担当部署・担当者名」とは何ですか？

- A. 在学の大学・大学院で奨学金を担当する学生課などの部署名と担当者の名前を記入してください。連絡先電話番号の欄には担当部署への直通電話番号、担当者メールアドレス欄には担当者のemailアドレスを記入してください(直通電話番号が分からない場合は、代表番号で結構です)。空欄の場合は選考対象外となります。研究室の連絡先は不可です。

Q. 特定の指導教員がいない場合、推薦状は誰に書いてもらえばいいですか？

- A. 学部長もしくは研究科で責任のある方に記入してもらってください。ただし、専攻の授業や研究指導を請け負っている方のみです。今後の研究について、責任をもって指導いただける方の推薦状が必要です。

Q. 受付番号を書く5カ所とはどこですか？

- A. 申請システムの「申請の流れ STEP04」を参照してください。また、5カ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

奨学金額に関するQ & A

Q. 奨学金の金額はどのように決まりますか？

- A. 当財団選考委員会による書類審査、面接試験の評価に応じて200万円、150万円、100万円のいずれかを決定します。他奨学金と併給の場合は一律50万円になります。

Q. 研究助成金の受給やアルバイト等での収入は合否に影響ありますか？

- A. TAやRA、アルバイトなどの収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、収支が合わないなど願書からどのように学費や生活費を賄っているか読み取れない場合、又は合理的な説明がなされていない場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。
また、奨学期間中に収入を伴う長期インターンシップをする予定の人は応募できません。

Q. 他奨学金と併給できますか？ 併給する場合、受給している金額にかかわらず減額されますか？

- A. 奨学期間中の他奨学金の合計額が180万円未満であれば併給できます。併給する奨学金の金額にかかわらず一律50万円を給付します。
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」、文部科学省の「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」他、同様のプログラム／プロジェクトに基づく給付金との併給はできません。

Q. 奨学金と研究助成金はどう区別しますか？

- A. 研究奨励費、研究専念支援金などの名称にかかわらず、使途(研究に直接必要な物品の購入費用など)が指定されていないもの、生活費にあてられるものはすべて奨学金とみなします。

Q. 入学金や学費の免除は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。

Q. アルバイトやTA、RAなどの収入は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。

Q. 貸付の奨学金は併給になりますか？

- A. 併給にはなりません。国や財団等からの返済の必要がない奨学金のみ併給とみなします。

Q & A

日本語能力に関するQ & A

Q. 日本語のレベルにかかわらず応募できますか？

A. 応募できます。ただし、在日期間に比しての日本語能力は、合否に影響を及ぼす可能性があります。また、面接で日本語を一言も話さないなど、日本語に対する消極的な態度は評価にマイナスとなります。

Q. 英語で面接を受けることはできますか？

A. 原則、面接は日本語ですが、在日期間が短い人は英語での面接も可能です。ただし、日本語で願書を提出した場合は日本語での面接になります。英語での面接は認めませんので、必ず応募者が使用可能な言語で願書を記入してください。英語で面接を受ける場合も、簡単な自己紹介など日本語で話す努力をした場合はその姿勢を評価します。

応募者数・採用者数に関するQ&A

Q. 例年何人ぐらいの応募がありますか？

A. 2024年度の応募者数は317人、2023年度は342人でした。

Q. 奨学生の採用人数は何人の予定ですか？

A. 2025年度は約90人採用予定です。2024年度は75人、2023年度は86人を採用しました。

その他のQ & A

Q. 受付番号がわからないのですが？

A. 受付番号はWeb提出完了時に発行されます。

Q. Web提出したら、応募手続きは完了ですか？

A. まだ応募手続きは完了していません。各申請書類の指定の5ヵ所（「申請の流れ STEP04」参照）に受付番号を記入し、応募書類をすべて揃えて、速やかに郵送してください。また、5ヵ所に加えて推薦状の入った封筒、願書を郵送する封筒等、すべての封筒にも受付番号を書いてください。

Q. 願書が事務局に届いたかどうか心配で確認したいのですが？

A. 応募者が多いため、到着の有無についてはお答えできません。事務局に届いているかどうか心配な場合は、郵送する際に書類の追跡ができるレターパックや簡易書留等で送ってください。

Q. 願書を事務局に直接持って行ってもいいですか？

A. 郵送のみ受け付けます。事務局に直接持参した場合やメールでの提出は選考対象外となります。

Q. 面接はいつ、どこでありますか？

A. 大阪または東京で6月下旬～7月初旬に行います（予定）。こちらで指定した日時・会場にお越しください。会場に来られない場合は選考対象外となります。

Q. 面接の連絡はいつ来ますか？

A. 6月下旬に応募者本人にメールで直接連絡します。事務局から連絡がない人は不合格となります。また、合否についての問い合わせには一切お答えできません。

Q. 継続申請の場合も新規申請と同じように応募書類をすべて揃えて提出しないとイケませんか？

A. 継続申請の場合も新規で応募した時と同様に、すべての応募書類を揃えて事務局宛に提出してください。半年間の継続申請を希望する人も同様です。

財団の概要

設立年月日

2007年3月6日 「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 設立
2012年4月1日 「公益財団法人 大塚敏美育英奨学財団」 移行登記

設立の趣旨

わが国においては、近年少子高齢化が著しくなり今後更にこの傾向が加速するものと思われ、若年の有能な人材の育成が強く望まれております。一方、わが国と経済、教育及び文化において深く結びついているアジア・アラブ・アフリカ地域等の開発途上国においては、若年層人口は増加傾向にあるものの、わが国等の先進国における大学等の高等教育機関で学び研究するものは限られ、また留学中の経済的基盤は不十分な状況にあると思われます。

このようなわが国と開発途上国の置かれている状況と今後の互惠の益々の発展が必要な現状に鑑み、アジア・アラブ・アフリカ地域等から、わが国の大学及び大学院に留学し、医学、薬学、栄養学、体育学及び経営学を専攻する留学生に対し、奨学助成することは有意義であるものと考え、2007年に財団法人大塚敏美育英奨学財団を設立致しました。

出捐者・大塚敏美プロフィール

当財団は大塚グループ創業者一族の大塚敏美から私財の提供を受けて設立されました。大塚敏美は1922年12月24日に徳島県鳴門市で生まれ、昼夜を問わず懸命に働く両親の下で、幸せな子供時代を過ごしました。

1950年に父・武三郎が設立した大塚製薬工場に入社してからは、会社の事務はもちろん、社員寮の世話に至るまで責任を持って働く一方、日常生活では日々質素倹約し、節制に努めていました。晩年になり、何か世の中のお役に立てることがしたいと、長年に亘って蓄えた私財の提供を申し出ました。こうして2007年、大塚グループの発展を長年に亘りご支援いただいた海外諸国からの留学生に対して奨学金を給付し、将来を担う人材の育成に寄与するという目的で、「財団法人 大塚敏美育英奨学財団」が設立されました。

財団法人の理事に就任してからは、毎年の奨学生認定式で長年の人生経験を通じて、「学ぶことのすばらしさ」「困難を乗り越えることの大切さ」を奨学生に語りかけてきました。礼儀正しく謙虚な人柄で、誠実さを貫き、2011年5月3日、清らかな88歳の生涯を全ういたしました。

大塚敏美の思いは現在も当財団の事業の中に生き続けています。

目的

日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対しての奨学援護を行い、もってわが国と世界の国々との国際親善と国際理解を担う有能な人材を育成することにより、わが国と世界の国々との学術、文化、教育の相互発展及び友好の発展に寄与することを目的としています。

事業

1. 日本国内の大学及び大学院に在学する有能な外国人留学生に対する奨学金の給付
2. 奨学金の給付を受ける留学生に対する生活指導及び助言
3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

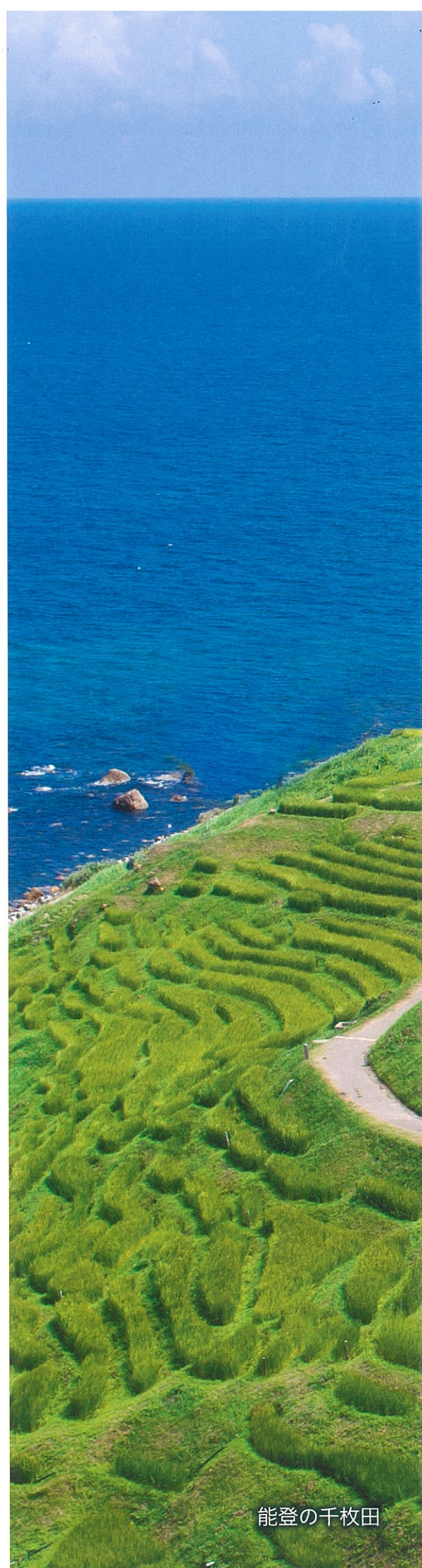
公益財団法人大塚敏美育英奨学財団

〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27

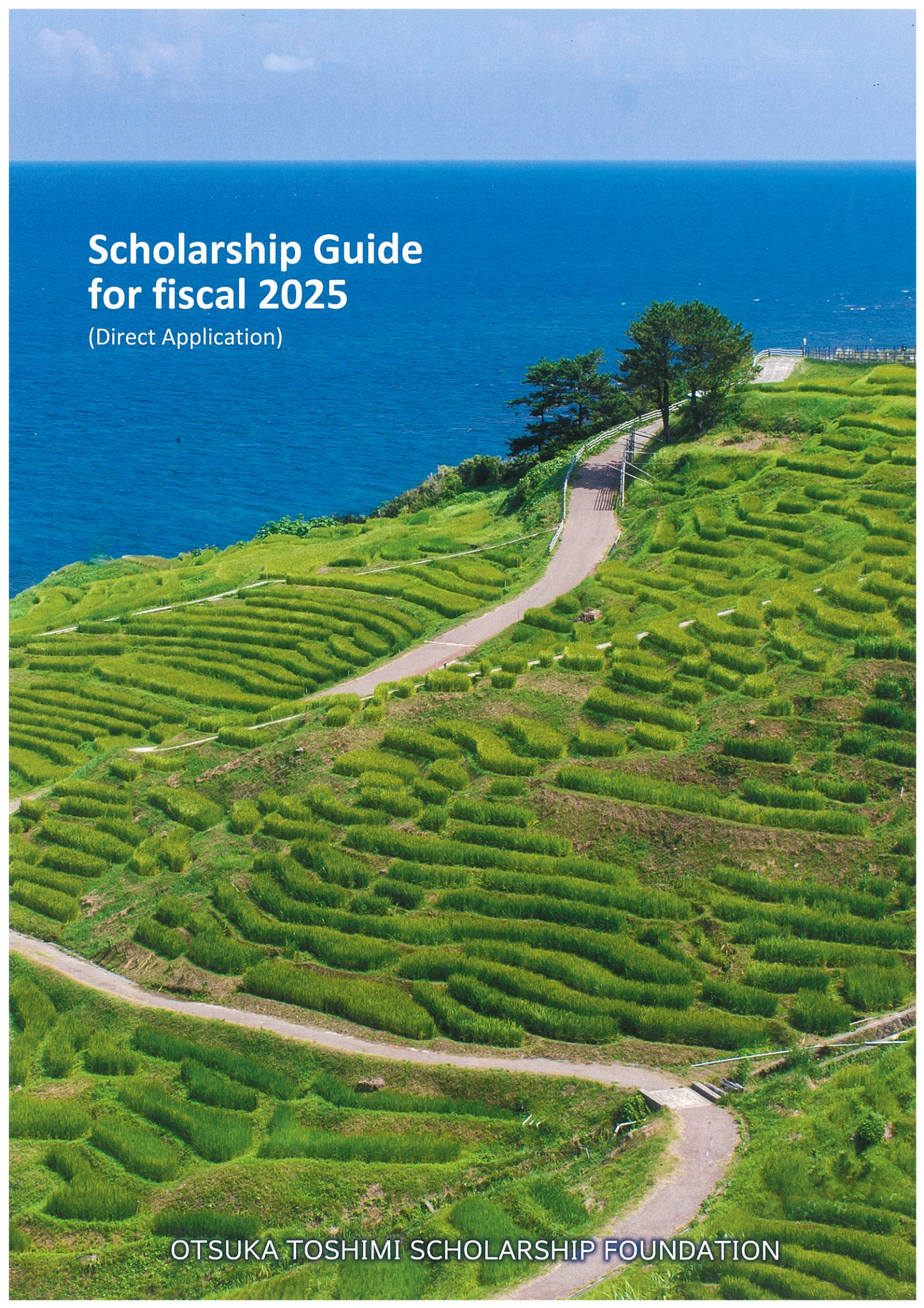
大塚グループ大阪本社ビル

TEL:(代表)06-6105-0870

www.otsukafoundation.org



能登の千枚田



Scholarship Guide for fiscal 2025

(Direct Application)

OTSUKA TOSHIMI SCHOLARSHIP FOUNDATION

Scholarship Program Overview

1) Amount of scholarship

Annual sum of ¥2.0 million, ¥1.5 million or ¥1.0 million

Annual sum of ¥500,000 for applicants receiving scholarships or benefits from other sources (the sum total of scholarships or benefits from other sources received during the scholarship period must be less than 1.8 million yen)

* Determined on the basis of evaluations by our selection committee.

* An annual sum of ¥2.5 million may be awarded to a small number of renewing applicants demonstrating excellent research performance and personal integrity.

Note: A scholarship recipient's failure to make satisfactory academic progress or any unethical or immoral behavior or illegal act by the recipient may result in a reduction or withdrawal of his/her scholarship.

2) Period covered by scholarship

One year: From April 2025 to March 2026

* Recipients must be enrolled in their university for the entire period covered by the scholarship.

Recipients may apply for a renewal of their scholarship in subsequent years, up to the minimum total number of years required for completion of the final degree they aim to complete.

* Fiscal 2024 recipients enrolled in fall and scheduled to obtain a degree (within the standard period for completion) in fall 2025 may apply for a renewal of half a year (If they are successful, they should submit in fall 2025 a document to certify their completion, such as a certificate of degree. The recipients must not receive any other scholarships.)

3) Applicant categories

1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation

2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation

* For renewing applicants, we accept only those who had enough achievements and advancements over the past one year.

* Copying of the past application materials will cause you to be disqualified.

4) Grounds for withdrawal of scholarship support

(1) The scholarship recipient withdraws from school.

(2) The recipient takes a leave of absence from school or does not attend classes for an extended period.

(3) The recipient fails to advance toward his or her degree or is at risk of failing to meet degree completion requirements.

(4) The recipient is not expected to graduate due to injury or illness.

(5) The recipient fails to make satisfactory academic progress or engages in unethical behavior.

(6) Circumstances render the scholarship unnecessary.

(7) Circumstances other than the above arise that disqualify the recipient.

(8) The recipient is expelled from school for disciplinary reasons.

(9) The recipient otherwise ceases to meet scholarship criteria.

Eligibility

***Those who are outside Japan at the time of application, document screening, interview, announcement of interview outcomes, or certification ceremony are not eligible for selection.**

(1) Applicants must be self-supporting international students residing in Japan with "college student" status and must be 38 years old or younger as of April 1, 2025.

(2) Applicants must be enrolled in an official degree program at a university or graduate school in Japan and pursuing studies in a field directly relating to human health (such as medicine, dentistry, pharmacology, biology, nutrition, physical education, or engineering {for engineering, must also be a field directly relating to medicine/pharmacology.}) or business administration (for students from developing countries where business administration is not an established discipline, "international relations" is also acceptable).

* For engineering, applicants will be disqualified unless the relationship with medicine/ pharmacology is clearly stated (including achievements such as the presentations at academic conferences and research papers) in the Scholarship Application Form.

* Students in the first and second years of undergraduate degree programs are not eligible to apply. Third- and higher-year undergraduate students are neither eligible to apply, except for those with particularly excellent academic records, such as those with straight A's.

(3) Applicants must be highly motivated, possess an outstanding academic record, and demonstrate personal integrity.

(4) Applicants must be involved in creative or innovative research.

(5) Applicants must be able to have their supervising professor or other person provide appropriate guidance and pre-checking of the documents they submit to the Foundation (including application documents).

(6) Applicants are not permitted to leave Japan for 40 or more days in total (including the departing date) during the period covered by the scholarship.

(7) Applicants must have an international perspective and demonstrate the ability to lead and serve as a bridge between Japan and other countries.

(8) Applicants must demonstrate a need for financial aid.

(9) Applicants must give full support and cooperations to events held by the Foundation and must contribute to building network between scholarship recipients.

(10) Applicants must be motivated to study the Japanese language.

* The Scholarship Application Form may be completed in English, but selection points will be deducted if applicants fail to show any motivation to study Japanese in the Scholarship Application Form and interview.

(11) Applicants must be committed to contributing to society through their research.

(12) Applicants must meet the requirements specified in (1) to (11) above and other requirements stipulated by the Foundation.

* Those who are unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible.

* Those who have classes only at night or over weekends, or who are enrolled in a correspondence education program are ineligible.

Applications

We have introduced an Application Support System. Applicants must complete online submission then mail the original documents to the Foundation.

1) How to apply *For more information, refer to the "Application Process" section.

1. From the top page of the Foundation's website, choose "Apply Now" to enter the Application Support System. Follow the instructions under "Application Process" to enter your basic information and submit your Scholarship Application Form (excluding letter of recommendation), Academic Transcript, and Japanese translation (only if you completed the application form in English) as PDF files. (Do not upload papers or other undesignated documents.)

* Lack of pages or necessary documents will cause you to be disqualified. (The page with photograph should be scanned in colors.)

* Be sure to attach a photograph to the Scholarship Application Form you submit online.

* Be sure to use a scanner to digitize your form as a PDF file. (We do not accept PDFs created from photographs using smartphone applications and the like. Do not scan using horizontal [landscape] orientation.)

* You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form and the basic information you entered. (Special attention should be paid to your name and research subject.)

You cannot cancel your online submission, so please be cautious when making online submission.

2. Write the reference number issued after online submission in the required five spaces (refer to STEP04 of the "Application Process" section) on your application documents, and mail the documents to the Foundation. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation, the envelope in which you send your Scholarship Application Form, and all other envelopes used in the application.

Notes:

* You will be disqualified if there are any differences between the content of the Scholarship Application Form/academic transcript you submitted online and the ones sent to the Foundation by mail.

- * Documents submitted will not be used for any purpose other than the business of the Foundation.
- * The documents will not be returned to applicants.

[Address] Otsuka Toshimi Scholarship Foundation Office
Otsuka Group Osaka Headquarters Building
3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka
540-0021, Japan

2) Application materials

1. Scholarship Application Form for your application category (Use the form designated by the Foundation, printed on a single side on A4 size paper. Please leave pages unstapled. You will be disqualified if the application form lacks any of the pages.)

* All documents other than the letter of recommendation must be handwritten in Japanese or English by the applicant (Use pens with black ink. Do not use erasable pens nor pens with blue ink. Application forms that are copied or written with tablet devices then printed out are not acceptable.) Applications completed in English must be accompanied by a Japanese translation (those submitted without complete and accurate Japanese translation will be disqualified. You will also be disqualified if the Japanese translation fails to indicate the character counts of the sections that have predetermined character limits). If you are to submit the applications in English, make sure to read parts explaining about Japanese translation in our Application FAQs.

* Please note that application forms are different for new and renewing applicants, as well as for the medical fields and the business fields applicants. Your application will be ineligible if you do not use the correct form.

* Renewing applicants must not copy from a Scholarship Application Form submitted for a previous application.

You will be disqualified if you copy any material from a previous application. Even if there has been no change in your future aspirations and research subjects, you should rewrite your application in new words.

* Applicants submitting application documents (including the contents of the Scholarship Application Form and Japanese translations) that appear not to have been checked appropriately by their supervising professor shall be disqualified.

2. Letter of recommendation duly signed by the recommender (the signature must be handwritten and not typed) and placed in a sealed envelope for submission (letters written in English must be accompanied by a Japanese translation).

* If a professor is to recommend two or more applicants (regardless of whether they are new or renewing applicants), please rank the applicants and state the reasons behind, then enclose "the statement of reasons" (推薦順位とその理由書) in the same envelope with the letter of recommendation. (This does not apply when only one applicant is recommended.) For the field of engineering, please use the recommendation letter format for engineering.

3. Color photograph: 4.5 cm x 3.5 cm photo showing the applicant facing forward from the chest up, taken no longer than six months ago (Paste the photo to the application form.)

4. Academic transcript: Most recent transcript, with course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. (Pass/fail records alone are not acceptable.) Send a transcript current as of the most recent year (must cover one full year) for which level evaluations or grade evaluations were made. (Student grade reports are not acceptable. A statement of reasons for not having grades in the institution currently attended is not acceptable. A transcript of Japanese language school or professional training college is not acceptable.)

* At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.

5. Student registration certificate (in Japanese) issued on or after April 1, 2025. Photocopies are not acceptable.

6. Certificate of residence: Official copy of full record issued on or after the call for applications is made. Photocopies, records that do not show "Nationality/Region" and "Status of Residence, etc.," and records that include an Individual Number (nicknamed "My Number") are not acceptable.

7. [When applicable] Documents showing information on other scholarships and research grants: If the applicant is receiving a scholarship or research grant from another source between April 2025 and March 2026, include a copy of a document showing the name of the granting organization, the scholarship/grant amount and period, and other relevant information.

3) Application period

* **Please note that different application deadlines are set for new applicants and renewing applicants.**

1. New applicants: Applicants who have not previously received a scholarship from the Foundation

Online submissions: Thursday, March 6, 2025, 9:00 a.m. - Monday, April 21, 2025, 5:00 p.m.

Submissions by mail: Tuesday, April 1, 2025 - Thursday, April 24, 2025, 3:00 p.m.

2. Renewing applicants: Applicants who have previously received a scholarship from the Foundation

Online submissions: Thursday, March 6, 2025, 9:00 a.m. - Monday, April 14, 2025, 5:00 p.m.

Submissions by mail: Tuesday, April 1, 2025 - Thursday, April 17, 2025, 3:00 p.m.

Screening Process, Selection, and Scholarship Payments

1) Screening process

The screening process involves reviewing the application documents and interviewing candidates who pass the documents review. Scholarship recipients will be chosen by the Foundation's selection committee, with decisions finalized by the Board of Directors.

Applicants who do not pass the documents review will not be notified.

The interview portion of the process is generally carried out between late June and early July in Osaka or Tokyo (tentative).

2) Selection

Scholarship recipients will be selected and notified by mid July.

Attendance at the certification ceremony planned on Friday, July 25 and Saturday, July 26, and submission of a Letter of Agreement are compulsory for official certification as a scholarship recipient. (This also applies to renewing applicants selected to receive the scholarship for a further half-year.)

You cannot withdraw from or alter your scholarship to enable receipt of another scholarship or research incentive grant after submitting the Letter of Agreement. (It is essential that you contact the Foundation Office in advance if you plan to apply for another scholarship or research grant.)

3) Scholarship payments

Scholarship payments are generally made twice annually on predetermined dates in August and December. Payments will be deposited directly into the recipient's designated bank account.

Moreover, you will also receive a book purchase grant toward the cost of purchasing books useful in your research, Japanese language studies, and international understanding (the expected grant amount is approximately 10,000 yen). Please be aware that you will be required to submit a Reading Report (in around November) on all books purchased using the book purchase grant.

* Renewing applicants selected to receive the scholarship for a further half-year will be contacted separately regarding the timing of their scholarship payments. The Foundation plans not to provide such applicants with book purchase grants.

4) Planned number of recipients

Approx. 90 in fiscal 2025 (75 students received scholarships in fiscal 2024, 86 in fiscal 2023)

Scholarship type

1. The Otsuka Toshimi Scholarship is awarded with no obligation of repayment, except when false declaration is made or when a recipient fails to perform their obligations.
2. The Otsuka Toshimi Scholarship is free of any conditions related to post-graduation activities, including employment.

Obligations of Recipients

Scholarship recipients are expected to fulfill the following obligations:

- (1) Comply with all rules stated in the Scholarship Guide and inform the Foundation promptly if they cease to satisfy any of the conditions for granting the scholarship.
- (2) Promptly notify the Representative Director of the Foundation if any of the following occurs:
 - i. Leave of absence, reinstatement, transfer or withdrawal from school
 - ii. Suspension or other disciplinary action
 - iii. Change in name, address or other important personal information
 - iv. Likelihood of repeating a year of study or not being able to obtain a degree within the standard period for completion
- (3) Submit the following documents to the Representative Director of the Foundation:
 - i. Student registration certificate and a report on living condition
 - ii. Academic transcript
- (4) Participate in events held by the Foundation.
- (5) Even after graduating, participate actively as an alumni and keep the Foundation updated of your current status.

Application Process

STEP 01

Creating a MyPage account

- 1 To enter the Application Support System, click the "Apply Now" button in the top page of the Foundation's web site. Click the "Create a MyPage account" button in the top right-hand corner of the screen.
- 2 Register your email address. (Please use the email address other than yahoo address.)
- 3 A MyPage registration link will be sent to the email address you entered. Click that link and set a password and security question.
- 4 A login ID will be automatically generated.

You have now created a MyPage account.

STEP 02

Prepare your application documents

- 1 Log in to MyPage.
- 2 Enter the basic information.

* Please enter the exact information as written in your application form. Your application will be disqualified if there is any difference between the basic information and the entry contents of your application form.

- 3 Upload your Scholarship Application Form (handwritten) and academic transcript. (If the application form is written in English, please upload a Japanese translation as well. Submit the application form and the Japanese translation in different PDF files, and upload them respectively to the "Scholarship application form" and "Japanese translation" sections.)

* Use a scanner to digitize your form as a PDF file. (We do not accept PDFs created from photographs using smartphone applications and the like. Do not scan using horizontal [landscape] orientation.)

* Do not upload any documents (such as papers) other than your application form to the "Scholarship application form" section.

* Do not upload any documents other than your academic transcript to the "Academic transcript" section.

* Upload the Japanese translation of your application form only in the case where you have written your application in English. (All English entries of the application form; including that of page 1 to 3, must be accompanied by a Japanese translation.) Do not upload any documents other than Japanese translations to the "Japanese translation" section.

* You can check to see which documents you have saved and uploaded by pressing the "Display PDF" button. You may also edit your application details and upload documents as many times as you like before pressing the "Submit" button.

* The application form without your photograph will be disqualified.

STEP 03

Online submissions

After you have verified your basic information and uploaded all of the necessary application documents, confirm the notes written below once more and click the "Submit" button on MyPage.

* Please make sure that you have uploaded all the pages (pages 1 to 11 for medical fields and pages 1 to 10 for business fields, except the recommendation letter on page 4) of Scholarship Application Form (pages containing photos should be uploaded in colors) and other required documents.

* Letters of recommendation, certificate of residence and student registration certificate must not be submitted online. (Opened letters of recommendation will not be accepted.)

* Your Application Form will be disqualified if it is not collated in the correct order or if any of the pages is aligned in the wrong direction.

* **You cannot cancel your online submission.** Click the "Display PDF" button and check once more through the PDF you uploaded, before clicking "Submit."

Online submission completed/Reference number issued

STEP 04

Prepare documents for mailing

Write your reference number (issued after the completion of online submission) in the following five locations.

Example: "25-1"

1. Checklist: Reference number column in the upper right-hand corner
2. Scholarship Application Form: Reference number column in the upper left-hand corner of page 1

Upper right-hand corner of each of the following documents:

3. Academic transcript (In this section, you must write your reference number and your name in Katakana.)

4. Student registration certificate

5. Certificate of residence

* The application form without the reference number will be disqualified.

STEP 05

Submissions by mail

Use the checklist to confirm that all of the application documents are ready and send them to the Foundation during the fixed application period.

* Your application will be disqualified if there is any difference between the content of the Scholarship Application Form/academic transcript you submitted online and the ones mailed to the Foundation Office.

* The letter of recommendation must be mailed in a sealed envelope. Opened letters of recommendation will not be accepted.

* Write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation, the envelope in which you send your Scholarship Application Form, and all other envelopes used in the application.

Application FAQ

Eligibility

Q	Are there any restrictions on nationality?
A	No, there are no restrictions on nationality. (However, those with Japanese nationality are not eligible.)
Q	Can I apply even if my status of residence in Japan is not College Student?
A	Only those with College Student status may apply.
Q	How can I find out whether my department, faculty or research subject makes me eligible?
A	If your research subject is in business administration or a field directly related to human health (such as medicine, dentistry, pharmacology, biology, nutrition, physical education, or engineering), you are eligible to apply, regardless of the specific department or faculty with which you are affiliated. (Describe your research subject in the 研究内容 section of the application form.) First, consult with your supervisor. If you are still unable to determine your eligibility, contact us via our website. Provide full details of your research subject.
Q	I am majoring in engineering. Am I eligible to apply?
A	You can apply if your studies are in an area “directly related to medicine/pharmacology.” Eligible areas include, for example: human medical engineering such as development of testing/analysis devices, biomaterials engineering, development of optical devices, radiation (therapy/diagnosis), and robotics; biopharmaceuticals, genomic data analysis, and other areas of bioinformatics; computational sciences, drug discovery. In your Scholarship Application Form, please be sure to state clearly how your studies are related and applicable to medicine/pharmacology. You will be ineligible if the relationship is unclear. Please note that you will be disqualified if you do not use the recommendation letter format for engineering.
Q	I am a biology major pursuing plant and animal studies. Am I eligible to apply?
A	You can apply if your studies are applicable to human health. On the Scholarship Application Form, you must explain how they are applicable.

Q	Am I ineligible to apply if I am not majoring in business administration?
A	Regardless of the Graduate School enrolled, eligibility extends to a broad range of fields related to business administration, including economics. If you are from a developing country where business administration is not an established discipline, “international relations” is also acceptable.
Q	Can research students also apply?
A	No, research students cannot apply. You must be currently enrolled as a regular student to be eligible.
Q	Is it possible to apply before I am officially matriculated into my undergraduate/graduate degree program?
A	No, you must be enrolled in an official degree program as of April of the application period and able to furnish a student registration certificate along with your application form.
Q	Can undergraduate (bachelor’s degree) students apply?
A	First- and second-year undergraduate students are not eligible to apply. Third- and higher-year undergraduate students are neither eligible to apply, except for those with particularly excellent academic records, such as those with straight A’s.
Q	I am a new applicant and will graduate from my current program in the fall of 2025. Can I apply for scholarship for half a year?
A	No, you can not. We do not provide new applicants with scholarship for half a year. Eligibility is limited to applicants who will be enrolled throughout the payment period (April 2025 – March 2026). However, if you plan to continue to graduate school after graduation, and can submit a letter of acceptance or other proof of admission together with your scholarship application documents, you are eligible to apply. However, this is only permitted in cases where you have been engaged in discussions with your prospective supervisor and he/she is able to write a letter of recommendation that includes comments on both your personality and your research plans.

Q	I am a fiscal 2024 scholar and will complete my current program in the fall of 2025. Can I apply for scholarship for half a year?
A	If you are a fiscal 2024 scholar enrolled in fall and scheduled to obtain a degree (within the standard period for completion) in fall 2025, you may apply for a renewal of half a year. Make sure to circle the option “半年間の継続希望” on page 1 of the Application Form. In this case, you can not receive another scholarship.
Q	I may not be able to obtain a degree within the standard period for completion. Can I still apply?
A	Students taking advantage of an extended enrollment system, students who remain in a program past the standard period for completion (including doctoral program students past the standard period for completion), and students unlikely to complete their studies within the standard period for completion are ineligible. Scholarship recipients will have their scholarship cancelled if their degree completion is delayed after they were selected as recipients.
Q	Is there an age limit?
A	You must be 38 years old or younger as of April 1, 2025.
Q	Am I eligible to apply even if I already have a scholarship from another organization?
A	Yes, provided that the scholarship in question allows you to accept other scholarships and the sum total received from other scholarships during the scholarship period is less than 1.8 million yen. Please submit a document copy that shows the name of the granting organization, the amount of scholarship, and period covered. However, you are not eligible if organizations provide any salary, e.g. JRA (Junior Research Associate Program).
Q	I plan to participate in an academic exchange program. Can I still apply?
A	Those who plan to leave Japan for a total of forty days or more (including the departing date) for exchange program, field work, homecoming visit, traveling, attending online classes from outside Japan, or other reasons (i.e. not being based in Japan) during the period covered by the scholarship are ineligible.

Application Materials

Q	How can I obtain information on application procedures?
A	The Foundation website includes a scholarship guide and other related information. You can also download application forms designated by the Foundation directly from the website. Please note that application forms are different for new and renewing applicants, as well as for the medical fields and the business fields applicants. Your application will be ineligible if you do not use the correct form.
Q	As of when should I provide information on the institution currently attended ③(所属機関)?
A	The information you provide for institution currently attended, year level, and other aspects of your studies and life should be correct as of April 2025.
Q	How should I fill out Section ④(学歴・職歴) of the application?
A	Provide your academic data from the last school attended in your home country to the school you are currently attending, in chronological order beginning with the oldest data at the top and leaving no gaps in the chronology (include any Japanese language schools attended and any universities attended as a research student). Also provide details on any work experience you have.

Example)

2014	9	~	2018	7	Department of XXX, Faculty of △△, ○○ University (△△ City, ○○ Province, China)
2018	9	~	2021	8	Worked in a research position, ○○ Co., Ltd. (△△ City, ○○ Province, China)
2021	9	~	2022	8	☆☆☆Japanese Language School (Osaka)
2022	10	~	2023	3	Research student, Graduate School of △△, ○○ University
2023	4	~	2025	3	Master’s program, Graduate School of △△, ○○ University
2025	4	~			Doctoral program, Graduate School of △△, ○○ University

Application FAQ

Q	I just matriculated and haven't yet compiled an academic record at the graduate school I now attend. Is an undergraduate transcript acceptable?
A	Yes, you may submit a transcript of the undergraduate institution from which you graduated.
Q	Does the transcript have to be an original? Do you accept copies?
A	You may submit a copy.
Q	Are transcripts written in the language of my home country accepted?
A	Yes. If it is difficult to obtain a transcript written in Japanese or English, you may submit a transcript written in the language of your home country. Please note that, as specified in the program guide, the transcript must provide course titles, credits earned, grades or other evaluations of student performance, and explanations of what the evaluations mean. <u>Transcripts with only pass/fail information will not be accepted. At least one year's worth of academic transcripts are required. If your most recent transcript only covers half a year, submit the one from the previous year as well.</u>
Q	Is the mail deadline the postmarked date or the date by which my application has to arrive at the Foundation?
A	For both new and renewing applicants, your mailed application must arrive at our office by 3:00 p.m. on the deadline date for mail submission. Only applications sent by mail are accepted. Please note that the deadline for online submission of application documents through the Application Support System on our website is 5:00 p.m. on the deadline date for online submission. Be sure to send a hard copy of your application documents by mail after submitting them on online.
Q	Does my application need to be handwritten?
A	The application must be handwritten by the applicant. Your application will be <u>disqualified if all or any part of the application is typed, handwritten by someone other than yourself, written with an erasable ballpoint pen, or written with tablet devices then printed out.</u>

Q	Do recommendation letters need to be handwritten as well?
A	Typewritten recommendation letters are acceptable. Use the Excel form downloadable from our website and be sure to <u>have the recommender place his/her signature in the 氏名(ご署名)section.</u> (A signature that is typed, stamped or handwritten by any other person will cause you to be disqualified.) The recommendation letter format is different for the engineering field only. If you are applying in the field of engineering, please make sure to use the recommendation letter format for engineering, and have your recommender check the box for 'related to medicine or pharmacology' after confirming.
Q	Do you accept application forms completed in English?
A	Application forms completed in English will be accepted but must be accompanied <u>by a Japanese translation of all English entries, including proper nouns.</u> In such cases, the forms completed in English must be handwritten by the applicant. If you are able to fill out sections of the form in Japanese, we encourage you to do so. The Japanese translation need not be handwritten. No specific format or structure is required for the Japanese translation, but make sure to separate the translation corresponding to each page of the application form, and print it on single-sided paper (no both-side printing). Only for the section on "Research Subjects" (page 7 and 8 of the application form), you can write it continuously and there is no need to separate the pages. <u>Please note that your application will be disqualified if there are any unnatural and unintelligible expressions, mistranslations, large omissions, translated content that is not contained in the original text, or other inaccuracies in the Japanese translation.</u> Also, in the Japanese translation, character limits for the sections on "Future Aspirations (Future Aspirations and Progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (Research Subject, Progress of the past one year and Research Plan for fiscal 2025)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と今年度の計画}) and "Progress and Achievements over the past one year" (過去1年の成果及び活動) still apply, and you are required to <u>clearly indicate the character counts.</u>

Q	The sections for "Future Aspirations (Future Aspirations and Progress of the past one year)" (将来の抱負{将来の抱負とこの1年の進捗}), "Research Subjects (Research Subject, Progress of the past one year and Research Plan for fiscal 2025)" (研究内容{研究について、この1年の進捗と今年度の計画}) and "Progress and Achievements over the past one year" (過去1年の成果及び活動) have grid lines for Japanese characters. How should I proceed if I'm completing these sections in English?
A	Simply ignore the grid lines. No limitation is placed on the number of alphanumeric characters when you complete them in English. <u>In the Japanese translations, however, please make sure to stay within the predetermined limit on the number of characters and clearly indicate the character counts.</u>
Q	I currently have no specific research subject. What should I write in the section for "Research Subjects" (研究内容)?
A	Write about a research theme that you wish to pursue and how you would pursue such research (within 800 characters).
Q	I'm receiving practical training at a hospital and have no research subject. What should I write in the section for "Research Subjects" (研究内容)?
A	Write about what you are learning through the practical training and what you would like to accomplish medically in the future (within 800 characters).
Q	What should I do if I have no particular "Progress and Achievements over the past one year" (過去1年の成果及び活動) to report?
A	Please report any achievements or advancements over the past one year, including not only presentations at academic conferences and papers submitted for publication, but also other achievements in your studies, activities contributing to the community, and so forth. If you had few achievements and advancements last year, you should not apply.
Q	What should I write about papers in the section "Academic conference presentations, papers accepted for publication, etc." (学会発表、論文掲載の研究実績) on page 10 of the application form for medical fields?

A	Please write the "author's name," "article title," "journal name," "volume number," "start and end pages," "year of issue (Gregorian calendar)," "peer-reviewed or not," "IF," and "DOI (Digital Object Identifier)." Also, write the principal three authors' names for a paper coauthored by several people. Other authors' names can be omitted. When they are omitted, please write the total number of authors and indicate where the applicant is among them using an ordinal number.
Q	Under "Have you applied for other scholarships/research grants?" (他奨学金・研究助成金の併願状況), how should I enter one-off payments?
A	When entering your information online, select "Annual amount" and enter the total yearly amount. On the Scholarship Application Form, in a blank space enter words such as "once-off" to explain the type of payment. If explanations are needed for other items on the form, enter them in blank spaces and mark them for attention using sticky notes.
Q	What does 外国人留学生担当部署・担当者名 on the application form refer to?
A	Write the name of the administrative department (such as the student affairs office) in charge of scholarships at the university or graduate school where you are enrolled, together with the name of the contact person. In the contact telephone number box (連絡先電話番号), write the direct number of the relevant department. (Write the general reception phone number if you do not know the direct number.) In the contact email box (担当者メールアドレス), write the email address of the contact person. If this section is left blank, your application will be disqualified. The contact information of your laboratory is not acceptable.
Q	If I do not have a designated supervisor, who should write the letter of recommendation?
A	Please have the head of your faculty or the person responsible for your studies at your faculty/graduate school write the letter of recommendation. The recommender shall be the person who undertakes responsibility for classes you major in or for your research guidance. The letter of recommendation should be written by the person who will take responsibility for guiding you in your research activities.

Application FAQ

Q Where are the required 5 spaces to write the reference number?

A Please refer to the STEP04 of the “Application Process” section in the Scholarship Guide or the Application Support System. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation, the envelope in which you send your Scholarship Application Form, and all other envelopes used in the application.

Scholarship Amounts

Q How are scholarship amounts determined?

A Scholarships of 2 million, 1.5 million or 1 million yen are granted based on documents submitted and candidate interviews, as evaluated by our selection committee. Those who already receive scholarships from other sources will receive 500,000 yen.

Q Will it affect the selection process if I win another research grant, or earn income from a part-time job?

A The selection process is not affected by income earned as a TA, RA, in part-time work, or received as a research grant. However, if your Application Form fails to show how you are meeting your tuition and living expenses, such as where details of your income and expenses are not provided or your stated income does not match your expenses, or lacks reasonable explanation for such failure, your application will be disqualified. Therefore, please accurately describe your current situation. You are ineligible to apply if you plan to do a long-term paid internship during the scholarship period.

Q How do you distinguish between a scholarship and a research grant?

A All funds to support living expenses and those with no specified purpose of use (such as purchasing materials directly required for research) are considered “scholarships,” even if they are called “research incentive grants,” “research focus support funds” or the like.

Q Can I receive the Foundation’s scholarship if I receive another scholarship? If I can, does the amount of the other scholarship affect the amount by which the Foundation’s scholarship is reduced?

A You can receive the Foundation’s scholarship provided the sum total received from other scholarships during the scholarship period is less than 1.8 million yen. The Foundation’s scholarship will be reduced to 500,000 yen, regardless of the amount of the other scholarship.

A You cannot receive the Foundation’s scholarship at the same time as receiving benefits under the Japan Science and Technology Agency’s Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation, the MEXT’s University Fellowship Founding Project for Innovation Creation in Science and Technology, or other similar programs/projects.

Q Are exemptions from admissions fees and tuition considered “other scholarships”?

A No, they are not.

Q Is income from a part-time job or a teaching or research assistantship considered “other scholarships”?

A No, it is not.

Q Are “scholarships provided as loans” considered “other scholarships”?

A No, they are not. Only scholarships from the government, foundations, or other institutions that do not have to be repaid are considered “other scholarships.”

Japanese Proficiency

Q Am I eligible regardless of my Japanese proficiency?

A Yes. However, your Japanese proficiency (assessed in light of the length of your stay to date in Japan) may affect your evaluation as a candidate. A lack of enthusiasm for Japanese, such as failure to speak any Japanese at all during the interview, will be detrimental to your evaluation.

Q Is it possible to be interviewed in English?

A While interviews are normally conducted in Japanese, they may be conducted in English if you arrived in Japan recently. Please note that you will be interviewed in Japanese if your application has been prepared in Japanese. Accordingly, be sure to prepare your application in English if you cannot speak Japanese. Even if you are interviewed in English, efforts to speak in Japanese, such as giving a simple self-introduction, will be evaluated positively.

Number of Applicants and Recipients

Q How many applicants are there in a typical year?

A There were 317 applicants in fiscal 2024 and 342 in fiscal 2023.

Q How many individuals receive scholarships?

A We plan to grant scholarships to around 90 individuals in fiscal 2025. We granted 75 scholarships in fiscal 2024 and 86 in fiscal 2023.

Other Questions

Q I do not know my reference number. What should I do?

A Your reference number will be issued upon completion of the online submission process.

Q Is my application complete once I have submitted online?

A No, your application is not yet complete. Write the reference number issued upon online submission in the required five spaces (refer to STEP04 of the “Application Process” section) on your application documents, and promptly mail all the documents together to the Foundation. In addition to these five spaces, you must also write the reference number on the envelope containing your letter of recommendation, the envelope in which you send your Scholarship Application Form, and all other envelopes used in the application.

Q I’m worried that my application hasn’t reached your office. Can you provide confirmation of your receipt?

A We receive many applications every year and cannot respond to questions concerning whether or not individual applications have been received. If necessary, please send your application by Letter Pack, registered mail or some other means that allows you to track its delivery status.

Q May I bring my application to your office in person?

A No. Please submit applications by mail. Any application brought in person to our office or sent by email will not be accepted.

Q When and where will the interviews be conducted?

A Interviews will be conducted between late June and early July in Osaka or Tokyo (tentative). You will be asked to travel to the venue at the time indicated. If you cannot come to the interview venue, you will be ineligible.

Q When will I be contacted about an interview?

A Applicants will be contacted directly by email in late June. Please note that you have not been selected if you have not been contacted by the end of June. We ask that you refrain from contacting us concerning selection decisions.

Q I’m a renewing applicant. Should I complete the scholarship application form and submit all required documents as a new applicant does?

A Yes. All applicants should complete the scholarship application form and mail it to the Foundation, along with the application materials specified in the program guide. Applicants for a half-year renewal should follow exactly the same process.

Establishment

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established on March 6, 2007. The Foundation was formally registered as a “public interest incorporated foundation” on April 1, 2012.

Background to the Foundation’s Establishment

Japan’s aging population and low birthrates have become prominent trends in recent years that are expected to accelerate. The country faces a strong need to develop as many talented young people as possible. Meanwhile, developing countries in Asia, the Middle East, Africa, and other parts of the world—which have strong economic, educational, and cultural ties with our country—have growing numbers of young people but limited opportunities for them to study and pursue research at universities and other institutes of higher education in Japan and other developed countries. Additionally, young people from such countries often struggle financially while studying abroad due to inadequate resources.

Given these conditions and the need for ongoing, mutually beneficial development, it was recognized that the provision of financial assistance to Asian, Middle Eastern, African, and other international students specializing in medicine, pharmacology, nutrition, physical education, and business administration at Japanese universities and graduate schools would be highly meaningful and worthwhile. Accordingly, the Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007.

Profile of Toshimi Otsuka, the Founding Donor

The Foundation began with a private donation from Toshimi Otsuka, a member of the family that founded the Otsuka Group. Toshimi Otsuka was born on December 24, 1922, in Naruto, Tokushima Prefecture. Raised by hard-working parents, she enjoyed a happy childhood.

In 1950, Toshimi Otsuka joined Otsuka Pharmaceutical Factory, a firm established by Busaburo Otsuka, her father. There she assumed various responsibilities ranging from clerical work to employee dormitory management. She lived simply and frugally, practicing economy wherever possible. In her later years, she expressed a wish to help society in some way and offered to donate her lifetime savings for the purpose.

The Otsuka Toshimi Scholarship Foundation was established in 2007 to provide financial assistance to students from countries that have long supported the growth of the Otsuka Group and thereby contribute to the development of future leaders in those countries.

While serving as a director of the Foundation, Toshimi Otsuka attended the award ceremonies for scholarship recipients each year, drawing on her own life experiences over the years to talk about the joys of learning and the importance of overcoming obstacles. A gracious and modest woman of personal integrity, she died on May 3, 2011, having led an unblemished life for 88 years.

The memory of Toshimi Otsuka lives on in the Foundation’s activities.

Objectives

The Foundation’s objective is to foster the talents of individuals with the potential to promote goodwill and understanding between Japan and countries around the world, by offering scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan, thereby ultimately promoting friendship between Japan and other countries and contributing to mutual development in academics, culture, and education.

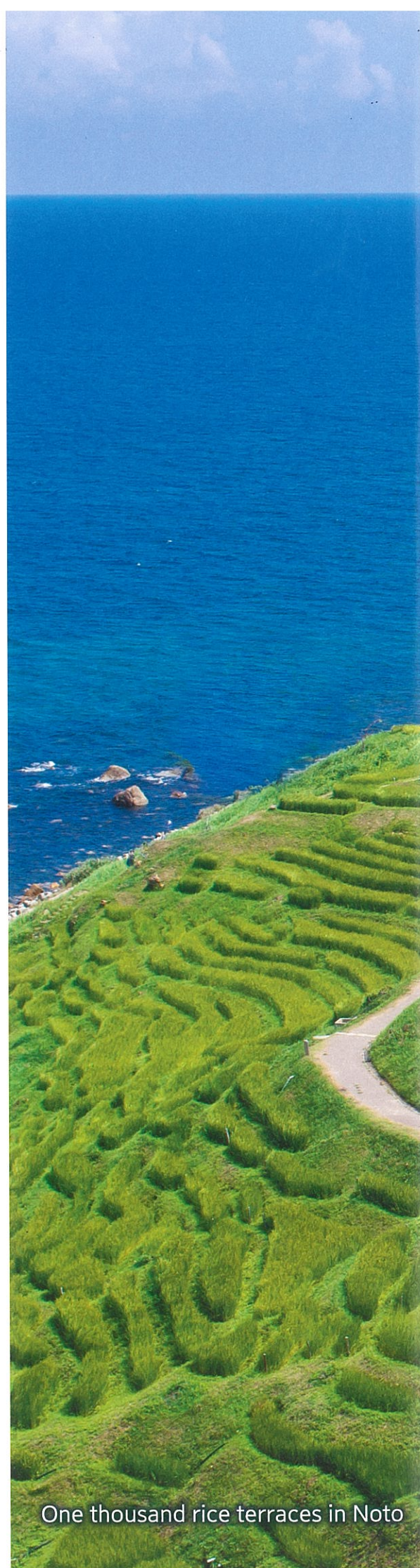
Activities

1. Awarding scholarships to exceptional international students enrolled at universities and graduate schools in Japan
2. Guiding and advising scholarship recipients on living and studying in Japan
3. Other activities needed to achieve the Foundation’s objectives

Otsuka Toshimi Scholarship Foundation Office

Otsuka Group Osaka Headquarters Building
3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka
540-0021, Japan

www.otsukafoundation.org



One thousand rice terraces in Noto